

序 公共施設白書について

1. 公共施設白書の目的

現在、全国各地において、公共施設の見直しが大きな課題となっています。公共施設は高度経済成長期に整備されたものが多く、老朽化に伴い更新時期を迎えたもの、耐震性の問題をかかえたもの、少子高齢化の進行によるニーズの変化への対応など、施設の更新だけでなく、その維持補修にも膨大な経費がかかることが想定されます。

こうした中、合併市町村である浜田市においては、旧市町村ごとに公共施設整備を進めてきた結果、本来、全市に1つあれば充足する施設や類似の施設が複数存在する状況にあります。浜田市民1人あたりの公共施設延床面積は6.86㎡（平成25年9月末日時点）となっており、東洋大学PPP研究センターの研究による全国平均値の3.42㎡（平成22年3月時点）を大きく上回っています。

人口が減少し財政状況が厳しくなっていくことが予測される中では、現在の施設を全て維持し続けることは不可能な状況にあります。こうしたことから、今後、必要性の高い施設や機能を維持するためには、必要性の低い施設との選別を進め、施設の再配置や複合化など、機能の維持に最大限配慮しながらも更新面積を削減し、量から質への転換、施設の最適化、効率的な管理運営を図る必要があると考えます。

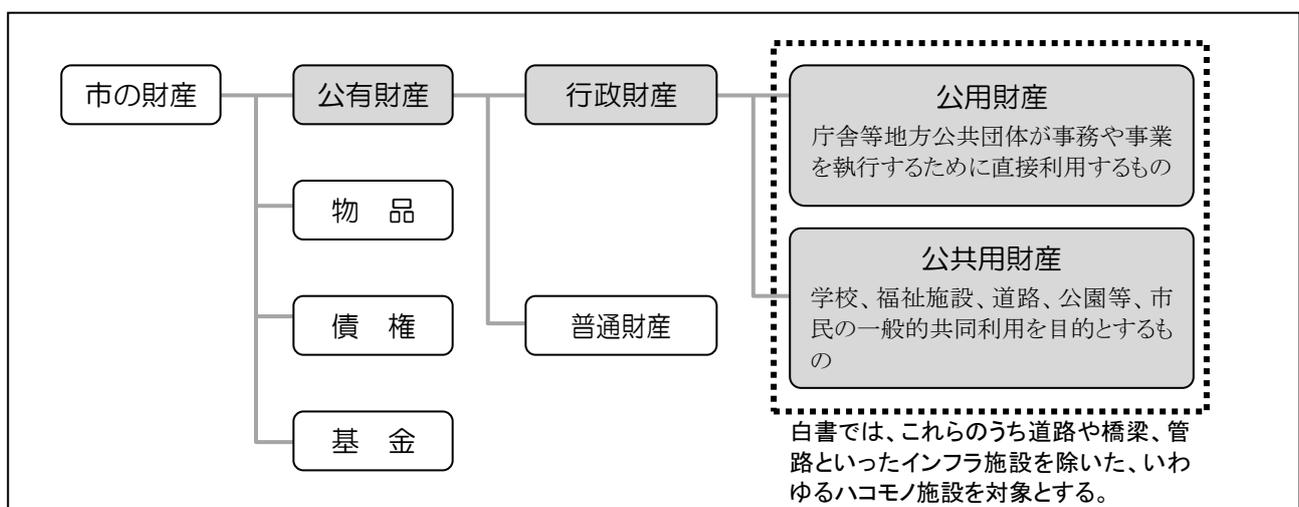
浜田市公共施設白書は、今後、浜田市が公共施設マネジメントを行っていく上で必要となる再配置の方針や再配置計画策定の基礎資料とすることを目的としたものです。

2. 白書の対象となる公共施設

地方自治法に基づき、地方自治体が所有し、管理する施設は下図のように分類されています。

このうち、「浜田市公共施設白書」は行政財産のうち、平成25年9月末日時点で市が所有する、教育関係施設や福祉施設、市庁舎や消防署等のいわゆるハコモノ施設、575施設を対象として作成しています。この中には、特別会計（国民健康保険（直診勘定）、駐車場事業、公設水産物仲買売場、国民宿舎事業、下水道関連事業、簡易水道事業）のハコモノ施設も含まれています。ただし、公営企業会計（水道事業、工業用水道事業）の施設、道路や橋梁、管路といったインフラ施設は除いています。

■ 公共施設の位置づけと白書の対象施設



なお、該当する公共施設のうち、詳細な分類は以下の通りです。

■施設用途の大分類、小分類一覧（計 575 施設）※うち特別会計分 53 施設（下表中：赤字）

（ ）内は施設数

大分類	小分類	主な施設
市民文化系施設(30)	集会施設(29)	集会施設、生活改善センター、防災センター、コミュニティ消防センター
	文化施設(1)	石央文化ホール
社会教育系施設(49)	図書館(6)	図書館(浜田・中央・金城・旭・弥栄・三隅)
	博物館等(10)	世界こども美術館創作活動館、御便殿、郷土資料館、民俗資料館、石正美術館
	公民館(33)	公民館、公民館分館
スポーツ・レクリエーション系施設(33)	スポーツ施設(21)	浜田市陸上競技場、ふれあいジム・かなぎ、旭公園、フットサルやさか競技場、三隅中央公園、アクアみすみ
	レクリエーション施設・観光施設(9) ※うち特別会計分(1)	国民宿舎千畳苑、かなぎウエスタンライディングパーク*、リフレパークきんたの里、ふるさと体験村
	保養施設(3)	美又温泉国民保養センター、美又温泉会館、旭温泉あさひ荘
産業系施設(29)	産業系施設(29)	勤労青少年ホーム、エクス和紙の館、弥栄肉用牛改良流通センター、石州和紙会館、ゆうひパーク三隅
学校教育系施設(53)	学校(29)	小学校、中学校
	その他教育施設(24)	給食センター、職員住宅、スクールバス車庫
子育て支援施設(13)	幼稚園・保育園・こども園(4)	幼稚園
	幼児・児童施設(9)	子育て支援センター、児童クラブ
保健・福祉施設(15)	高齢福祉施設(8)	高齢者生活福祉センター、老人福祉センター、三隅デイサービスセンター
	障害福祉施設(2)	あさひひまわり工房、みすみ地域活動支援センターきずな
	保健施設(2)	旭保健センター、三隅保健センター
	その他社会福祉施設(3)	総合福祉センター、ラ・ベアーレ浜田、あさひふれあいプラザ
医療施設(6)	医療施設(6) ※うち特別会計分(5)	国民健康保険診療所、歯科診療所
行政系施設(108)	庁舎等(8)	市役所本庁舎、市役所分庁舎、支所庁舎
	消防施設(92)	消防署、消防署出張所、消防ポンプ車庫、水防倉庫
	その他行政系施設等(8)	公用車両車庫、除雪車車庫、市営バス車庫
公営住宅(101)	公営住宅(101)	公営住宅、一般住宅、雇用促進住宅
公園(24)	公園(24)	公園内公衆トイレ
供給処理施設(49)	供給処理施設(5)	浜田浄苑、不燃ごみ処理場、埋立処分場、三隅ごみ処理センター、一般廃棄物最終処分場
	簡易水道施設(27) ※うち特別会計分(27)	配水池施設、ポンプ室、浄水場施設
	下水道処理施設(17) ※うち特別会計分(17)	浄化センター、ポンプ場、汚水処理施設、三隅地区資源循環施設
その他(65)	その他(65) ※うち特別会計分(3)	倉庫、公衆トイレ、バス待合所、駅舎、火葬場、道分山立体駐車場、公設水産物仲買売場、診療所医師住宅

* 就労継続支援A型事業、障害児通所支援事業（放課後デイサービス）を実施

3. 白書の構成

白書の構成は以下のようになっています。

序 公共施設白書について

1. 公共施設白書の目的
2. 白書の対象となる公共施設
3. 白書の構成

白書作成の目的、基本的な考え方を整理しています。

第1章 浜田市の概要

1. 市の概要

- (1) 市の沿革、位置、面積
- (2) 土地利用の状況
- (3) 交通の状況
- (4) 産業の状況

2. 人口の概要

- (1) 人口の推移
- (2) 人口増加率の推移
- (3) 年齢別人口の推移
- (4) 流出、流入人口
- (5) 将来推計人口
- (6) 自治区別の将来推計人口

3. 財政の状況

- (1) 歳入の状況
- (2) 歳出の状況
- (3) 将来の財政見通し

本市の沿革、人口、財政の現状や将来的な見通しを整理しています。

第2章 公共施設の状況

1. 建物の状況

- (1) 大分類別の施設状況
- (2) 経年別延床面積
- (3) 耐震化実施状況
- (4) 自治区別過去整備量
- (5) 人口1人あたりの延床面積（他都市比較含む）

2. コストの状況

- (1) 管理運営費の状況
- (2) 収入の状況

3. 将来更新投資額の試算

- (1) 将来更新投資額の考え方
- (2) 将来更新投資額の試算

全市レベルの公共施設の建物状況、コスト状況を整理し、将来的に公共施設の更新にかかる費用を試算しています。

第3章 施設用途の小分類別の状況

1. 大分類 A

(1) 小分類 a

- ①施設概要
- ②建物状況
- ③利用状況
- ④コスト状況
- ⑤現状のまとめ

2. 大分類 B

(1) 小分類 b

- ①施設概要
- ②建物状況
- ③利用状況
- ④コスト状況
- ⑤現状のまとめ

公共施設の小分類別に公共施設の状況を、施設概要、建物状況、利用状況、コスト状況に分けて整理しています。

第4章 地域別の状況

1. 自治区別の状況

(1) 浜田自治区

- ・地域の基礎情報
- ・将来人口予測
- ・保有施設の状況
- ・過去整備量
- ・自治区の現状

2. 地区別の状況

(1) 浜田地区

- ・地域の基礎情報
- ・将来人口予測
- ・保有施設の状況
- ・過去整備量
- ・地区の現状

自治区別、地区別の将来人口の予測、公共施設の状況について整理しています。

第5章 公共施設の適正配置に向けた課題

1. 公共施設を取り巻く状況の整理
2. 公共施設の適正配置に向けた課題の整理

公共施設の適正配置に向けた課題を整理しています。

・本白書内の公共施設のデータは平成25年9月末日時点のものを使用しています。
・数値データは四捨五入で整理しているため、%表示の合計が100%とならないなど、個別の数値と合計値が一致しない場合があります。